

第4回日本病院救急救命士研究会

スポンサーシップ趣意書

Sponsored Opportunity

協賛・広告募集のご案内



主宰 一般社団法人 民間救命士統括体制認定機構

日本病院救急救命士ネットワーク

ご挨拶

謹啓 貴社におかれましては益々ご清栄の御事と存じ、お慶びを申し上げます。また、日頃より格別のご厚情を賜り厚く御礼申し上げます。

この度、2024年8月31日(土)に第4回日本病院救急救命士研究会を東京都墨田区で開催させて頂く運びになりました。

救急救命士法が改正され、約3年が経過しようとする現在、多くの病院で救急救命士が雇用されて来ております。日本病院救急救命士ネットワークは日本全国の医療機関に所属する救急救命士が相互の情報交換・連携出来る場の提供を目的に活動してきており、現在は1,200名を超える会員登録を頂いております。

その活動の中で柱となる「日本病院救急救命士研究会」は2021年よりスタートし、昨年の川崎幸病院、蒲池会長の際には初めて対面開催することが叶い、多くの参加者が来場され盛大に開催することが出来ました。

今回、第4回日本病院救急救命士研究会を開催させて頂くにあたり、対面枠を120名まで拡大させて頂き、WEB配信を含め、ハイブリッド開催を予定しております。

本研究会のテーマを「調和と発展」～チーム医療の病院救急救命士～としました。院内で協働する、医師・看護師・放射線技師等の他職種とどのように連携していくのか、救急救命士が果たすべき役割、求められる能力など、活発な議論を行って頂きたいと思い、今回は救急救命士だけでなく協働する立場の医師の先生方にも登壇に頂きチーム医療での連携体制について、議論を深めて頂きたいと考えております。

参加者は病院救急救命士に限らず、行政消防機関・医療関係者の多くの方々に本研究会に参加頂きを今後の病院救急救命士の進むべき未来について方向性を示し、関係機関・団体等を一同に会し、病院救急救命士の調和と発展に寄与する場なれば幸いです。

つきましては、本研究会開催にあたりご理解、ご賛同をいただき、ご支援を賜りたくお願い申し上げます。末筆ながら、貴社のますますのご発展を祈念しております。

謹白

2024年4月吉日

第4回日本病院救急救命士研究会
会長 長橋 和希
医療法人伯鳳会東京曳舟病院
救急救命士課

第4回 日本病院救急救命士研究会 概要

会議名称:第4回日本病院救急救命士研究会

会 期:2024年8月 31 日(土) 9:30~16:00(予定)

会 長: 長橋 和希(医療法人伯鳳会東京曳舟病院 救急救命士課)

テ ー マ: 「調和と発展」 ~チーム医療の病院救急救命士~

会 場: 曳舟文化センター レクリエーションホール

〒131-0046 東京都墨田区京島一丁目38番11号

方 法:ハイブリッド開催(対面 & Web)

定 員:対面 120人・Web 100人

参加予定人数:220人程度

参加費: 1,000円

主催:一般社団法人 民間救命士統括体制認定機構

運営:日本病院救急救命士ネットワーク

研究会役員(敬称略):会長	長橋 和希	医療法人伯鳳会東京曳舟病院 救急救命士課
幹事/委員	北原 学	国立国際医療研究センター病院救命救急センター・救急科
幹事/委員	喜熨斗 智也	国士舘大学大学院救急システム研究科
幹事/委員	津波古 憲	一般社団法人民間救命士統括体制認定機構
幹事/委員	蒲池 淳一	社会医療法人財団 石心会 川崎幸病院
幹事/委員	沼田 浩人	日本医科大学多摩永山病院救命救急センター
委員	渡部 晋一	医療法人伯鳳会東京曳舟病院 救急救命士課
委員	森 めぐみ	医療法人伯鳳会東京曳舟病院 救急救命士課
委員	磯崎 千尋	医療法人伯鳳会東京曳舟病院 救急救命士課

○研究会事務局:事務担当

医療法人伯鳳会 東京曳舟病院

〒131-0031 東京都墨田区東向島2-27-1

第4回日本病院救急救命士研究会 概要

■ 日程表(予定)

8月31日(土)

プログラム構成:教育講演/シンポジウム/一般演題

本研究会趣旨:救急救命士法の改正と2024年の医師の働き方改革を受けて、救急救命士を雇用する病院が増加しています。しかし病院救急救命士の歴史は浅く、「救急救命士の業務はなにか」「救急救命士に求められる役割は」「救急救命士として採用されたが、具体的な業務内容が明確ではない」など、全国の病院から多くの困惑した声が挙がっています。このことから救急救命士を病院で雇用する根拠を提示し、同時に他医療従事者と協働しチーム医療の一員として活躍する事が求められています。

そこで病院内の業務確立・多職種との連携を目指し、全国の病院救急救命士が集いそれぞれの業務内容を明確化させ、具体策を検討し、共有することで病院救急救命士の安定かつ継続した雇用に繋げ、地域・社会に貢献していくが本研究会の趣旨です。

■ 展示・各種広告・寄付金を必要とする理由

本研究会は、参加者220名程度が予測され、本集会の準備・運営に関する諸経費は、本来は主催団体の経費等によってまかなうべきものではございますが、参加者が個人で負担できる金額には限りがございます。従いまして、必要経費の相当額は諸団体及び諸企業の方々のご援助に頼らざるを得ないのが実情でございます。つきましては、本研究会の開催趣旨を十分にご理解いただき、展示・各種広告を賜りますようお願い申し上げます。

■ 協賛金の取り扱いについて

自然災害、火災、疫病、戦争、テロ、輸送機関の運行障害、停電、ネットワーク設備の損壊、行政機関の指示・命令・規制など、主催者の責めによらない事由により、主催者が催事開催を制限・停止することとした場合、催事に関する申込料金の一部または全部を返金しない場合があります。お申込みに際しましては、本研究会の上記方針に同意いただき、お申し込みくださいますようお願い申し上げます。

収支予算

		予算額	備考(2024年予算)
収入の部	研究会広告料・寄付金	300,000	ホームページ、バナー、研究会当日広告費(6社)
	参加費(現地/WEB共通)	220,000	参加費 1,000 (220人)
	収入合計	520,000	

支出の部	事前準備費	95,000	
	運営準備費	15,000	ネームホルダー、資料印刷代、郵送代、雑費
	抄録費/ポスター費	50,000	配布用抄録・ポスター関係
	通信費	15,000	WEB配信通信費、緊急連絡用携帯電話(レンタル)
	会議費	15,000	会議室、事前配信確認
	当日運営費	415,000	
	会場費	55,000	墨田区曳舟文化センター
	映像機材費	50,000	配信用PC、スイッチャー、ビデオカメラ、三脚
	現地参加者弁当代	120,000	弁当代 1,000円(120人)
	運営要員関係費	100,000	日当 10,000円(10人)
	当日用品費	20,000	雑費
	飲食・会合関係費	50,000	昼食(弁当代、10人)、軽食、飲み物
	講師謝礼・交通費	30,000	講師旅費(座長・講師10人)
支出合計	520,000		

収支金額	0	
------	---	--

協賛について

協賛は下記の通りで特典をご用意いたしました。また、申し込みに必要な事項も併せて明記しておりますので、ご確認の上ご協力いただけると幸いです。

◆協賛金 ¥50,000（税別）

協賛企業様には、下記特典をご用意いたします。

- ・研究会中のメインスクリーンへ貴社名を掲載
- ・研究会中ホームページへ貴社バナー広告を掲載
- ・抄録集へ貴社広告を掲載
- ・研究会会場での企業展示（長机×1、椅子×2）

ご提供いただくバナーサイズについて
468px×60px GIF/JPEG



主宰 一般社団法人 民間救命士統括体制認定機構

日本病院救急救命士ネットワーク

ご提供いただく・静止画広告について

アスペクト比 16:9 MPEG4 もしくは JPEG フォーマット、音声可能

静止画は 6 枚以内であればスライドショーも可能

メインスクリーンへ投影されるタイミングは、各プログラム間に設けられた休憩時間となります。総スポンサー数により投影回数に変動いたします。

でのメインスクリーンへの上映イメージ



第4回日本病院救急救命士研究会

協賛掲示イメージ

協賛

〇〇〇株式会社
(株)〇〇エンタープラズ

主宰 一般社団法人 民間救命士統括体制認定機構
日本病院救急救命士ネットワーク

オフィシャルサイトへのバナー掲載のイメージ

掲載期間は 8 月中を予定しております。*事前にデータ提供いただいている場合に限る。

協賛の申し込み方法

1. 協賛のお申し込み

下記事務局へ、記載事項をご入力頂き、お申し込みをお願い致します。

■協賛のお申し込みについて

【連絡先】

研究会事務局： 〒131-0032 東京都墨田区東向島2-27-1
医療法人伯鳳会 東京曳舟病院
事務担当：
E-mail: jhpn-info@abpmo.jp

※研究会運営に関するお問合せは上記メールアドレスをお願い申し上げます。

【E-mail 記載事項】

1. 貴社名およびご連絡先
2. ご担当者様ご芳名
3. メインスクリーン掲載用、抄録集掲載用、およびバナー広告用データ(メール添付)

(※データ送付について: データと出力見本用 PDF を添付の上、E-mail にて送付ください。8MB を超える大容量データは受信できない可能性がありますので、オンラインストレージ等をご利用ください。)

1. 締切

広告原稿締切:2024年 8月 10日

2. 広告申込・原稿送付先

第4回日本病院救急救命士研究会 事務局
Mail: jhpn-info@abpmo.jp

※ご不明の点がございましたら上記事務担当()にお問い合わせください。

3. お支払い

お申し込み連絡後、ご担当者へお振込のご連絡をいたします。メールが届きましたらお振込みをお願い申し上げます。

※お振込み手数料は貴社にてご負担ください。

以上